



明治大学校友会
福岡市地域支部だより

明治大学校友会福岡市地域支部事務局
〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-1-2
セントラルホテルフクオカ内
TEL 092-712-1212

風のふくおか

26号

2010年7月



明大卒、若きリーダーからのメッセージ

明治大学

Meiji Young Executive Interview
for Students



明治大学とOB等
の人脈を繋げる新
しいタイプのコ
ミュニケーション
ブック『Meijin』
「明大人=Meijin」

校友会福岡ホームページ <http://www.meidai-fukuoka.jp/>

小川弘毅氏 福岡市地域支部長に就任



この度、小川弘毅氏が福岡市地域支部の新支部長に就任された。小川氏は昭和39年、政治経済学部卒で、現在西部ガスの代表取締役会長として活躍されている。略歴は以下の通り。



先日の支部幹事会にて、「大役を仰せつかって荷が重いです。母校のために頑張りたい」と挨拶を述べられた。小川支部長は昭和16年生まれ、現在68歳。出身は北九州。明治大学とのご縁も深い。小倉高校時代クラスメートの多くが東京を目指しており、自分も東京に行きたかったが、兄弟が多かったため父親は東京行きに反対。それでも諦めきれず父との折衝を続けていたところ、当時西部ガス社長だった山崎宮市氏を尊敬していた父が、山崎社長の母校の明治大学ならば・・・と許してくれたとの事。学生時代はアルバイトの日々だったが卒業し、西部ガスに就職。入社当時の社長はその山崎氏。山崎氏は明大相撲部出身で大相撲九州場所の誘致に尽力された。そしてその2代後には同じく明大卒の塩屋義之氏が社長を務めており、小川支部長は3人目の明大卒の社長経験者である。

校友会では、古賀前支部長よりは約20年近く若返るが、自分より先輩の校友と若い校友の潤滑油になって中間の役割を果たし、若い人達の力を発揮させこれからの支部をそして支部長を育てていきたいと抱負を述べられた。

明治大学校友会福岡支部は、明治34年創立以来、先輩校友が母校発展のため脈々と力を尽くされ、全国大会を4回も行うなど全国に「福岡あり」と名を馳せているが、小川新支部長就任によりその歴史に新たな1ページを加える事になる。新しい支部長のもと、開放的で明るく活力のある福岡市地域支部にしていきたいものである。

略歴

《学歴》

昭和39年3月 明治大学政治経済学部卒業

《職歴》

昭和39年3月 西部瓦斯株式会社入社

平成15年6月 同社代表取締役社長

平成20年4月 同社代表取締役会長

現在に至る

《団体歴》

平成15年7月 (社)日本ガス協会常任理事

平成15年7月 (社)日本ガス協会九州部会長

平成16年4月 (財)天然ガス導入促進センター理事

平成20年5月 (社)日本ガス協会副会長

現在に至る

平成21年6月 (財)九州生産性本部会長

現在に至る

小川新支部長を囲む会 台湾の周 総領事が懇親会を催される



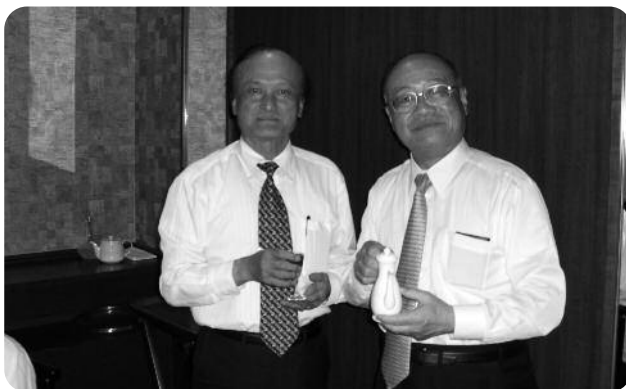
台湾駐福岡経済文化弁事所の周所長（総領事）が、小川弘毅氏の福岡市地域支部長就任を祝い、「小川新支部長を囲む会」をさる6月1日（火）催された。周総領事はこの7月で退官され福岡を去られるが、今後の台湾と福岡の益々の交流を願ってこのような懇親会を催された。

会には、周総領事の他、弁事所の向部長、呉課長が出席。小川支部長は校友の久留米ガス社長の岩崎敏幸氏（48年商学部卒）を同行され、地域支部から矢谷幹事長、伊東幹事らも出席しての歓談になった。

お互いに学生時代の話では、周総領事は松岡三郎先生のゼミでの厳しかった学生時代を語られ、小川支部長は藤原弘達先生の話や初めてのスト参加で首相官邸まで行った事を懐かしそうに話された。小川支部長は「もっと早く周さんと知り合いになっておけば良かった」と話され、矢谷幹事長からも「周さんのお陰で台湾支部との交流も一気に深まり大変良

かった」と周総領事の功績を称えられた。

周総領事は東京に22年住み、その後福岡にも4年近く住まれたわけだが、退官後は地元（台湾の花蓮市）で日本語の教鞭をとられるとの事。今後も体に気をつけられご活躍をお祈りするものである。



周総領事（左）と小川支部長（右）

追悼 古賀愛人前支部長

副支部長 荻原 弘章 *

*

*

*

今だに信じられません。昨日の出来事の様で筆をとる気になれません。

昨年12月10日の朝、古賀支部長のご親戚でTNC報道局時代の後輩が「社長が倒れた」と我が家に飛び込んできました。近所ですのでツツカケ姿で飛んで行きましたが、救急車が出た後でした。ご家族の話では、朝8時頃、急に倒れられたそうで、胸部の血管が破れたとのことでした。信じがたいことでした。

6日前には鳩山内閣の政治や箱根駅伝や支部発展のこと等々、元気に熱っぽく語って居られました。ご遺体のお顔は血色も良く、つい「寝てないで起きて下さい」と声をかける有様でした。

思えば、初めてお会いしたのが、昭和37年、私の在籍していたTNCに西日本新聞社東京政治部から入社されて、以来47年間のお付き合いでした。柔道で鍛えたお体は80歳を過ぎても元気そのもの、「来年米寿の祝いなど、しなくて良いよ。百歳までは大丈夫と医師の保証付だから白寿で良いよ」とお元気に笑って居られました。

明治大学には柔道の名人である三船十段のお宅から通学され、学徒動員で南方戦線に従軍し、九死に一生を得て帰還、復学されました。占領軍の指示で、柔剣道は禁止されていたので柔道の復活に尽力され、部も復活されました。その後、西日本新聞社に入社、東京政治部で活躍、内閣記者会の幹事などを勤められ、大平正芳、佐藤栄作（いづれも元総理）さんら、大勢の大物政治家から「愛ちゃん愛ちゃん」と可愛がられ、テレビに来られる前の一時期、政界進出も考えられました。昭和37年TNCに入社され、昭和60年から6期、社長を勤められ、その間、日本民間放送連盟の理事や副会長に就任、系列を超えて九州民放の発展に尽くされました。経済、文化にも尽くされ、北九州交響楽団の理事長や経営者協会の

理事など諸団体の役職など多岐にわたり活躍され、勲二等瑞宝章を受章されました。

校友会では、平成5年副会長に平成11年には相談役に就任され、名物会長の青木信樹さんが昨年引退される迄、支えてこられました。

お酒の方は強い方で、相手に合わせて飲まれ、相手が一升飲めば付きあって同じ一升飲まれましたが、酒席で決して飲まれる事はなく、平然として居られました。気分の乗った時は歌を唄われ、演歌は坂本冬美の「夫婦坂」が十八番でした。奥様思いの支部長の優しさが感じられました。

古賀愛人支部長の人となり、一言で表現すると「人の悪口は絶対に言わない、自分のカバン（荷物）は人に持たせない」が信条の一つでした。

平成21年12月10日、従四位の官位に叙せられました。

今夜も西の空に、ひときわ輝く大きな星が目に入ります。



余談ですが、お別れの会の際、祭壇一面の桜の花は、山形県で栽培している「啓翁桜」という本物の桜です。

在りし日の古賀前支部長

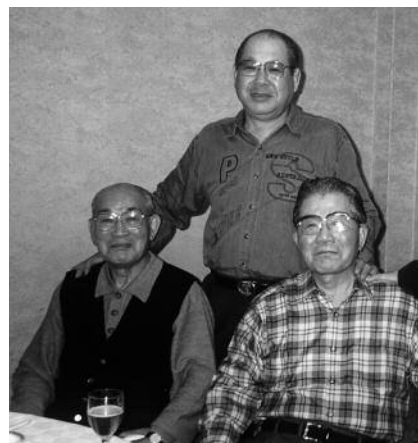


平成15年の総会での写真



平成18年のマンドリン演奏会でのあいさつを述べられる

明福ゴルフ会納会（平成14年）でのスナップ



古賀愛人前支部長を偲ぶ2つのお別れ会



株式会社テレビ西日本と株式会社TNC放送会館主催のお別れの会は、1月27日（水）に福岡市の中心部のホテル、グランドハイアットで、TNCテレビ西日本の寺崎一雄社長始め、社員の皆さん方のおかげで、パーティー形式で盛大に開かれました。

福岡市地域支部も校旗を飾った専用の受付を設けさせてもらいました。平日の昼間にもかかわらず、新潟など遠方からの校友もおいでになるなど、会場いっぱい到大勢の方々が来られました。そして祭壇一面の「啓翁桜」の花に囲まれた遺影に、お別れを告げ、ありし日を偲んでおられました。



遺影の前で幹部の方々

明治大学校友会有志による偲ぶ会は、神永正夫幹事と矢谷学幹事長のお世話で、春の日の穏やかな4月10日、太宰府天満宮 本殿裏の梅園内にある「松島茶屋」で行われました。受験シーズンもほぼ終了した当日は、うららかな春の日差しにつつまれ、福岡市地域支部校友や小倉地域支部の勢支部長や筑豊地域支部の福澤先輩など、約30名の校友が亡き古賀愛人先輩を偲び、盃を上げました。

ここ太宰府天満宮は、さきの明治大学全国校友大



上杉先輩の音頭で最後は肅々と校歌で送りました

会の折、記念品「鸞替え人形」でご縁があり、古賀支部長も毎年のように年の初めにはお参りをしておられたとの事。日頃はなかなか会う機会の少ない先輩方とも、こうしてゆっくり話をする機会をいただき、これも古賀支部長のお陰だと感謝した次第でした。

この偲ぶ会の我々を、空の上からあの笑顔で見えておられたのではないかと思えるような、暖かい春の午後でした。



今回お世話された神永幹事のあいさつ

HONDA

PARTS

Hondaの部品・用品の卸・販売会社

株式会社 ホンダパーツ西南

取締役会長 佐々木 義宣 (昭和37年文学部卒・柔道部OB)

本社 〒816-0092 福岡県福岡市博多区東那珂3-2-12

TEL 092-433-0433

営業所 福岡・北九州・大分・佐賀・香川・徳島・愛媛・高知



福岡県支部総会が5月29日（土）セントラルホテルフクオカにて行われた。当日はさわやかな五月晴れの天気恵まれ、来賓を含め約140名の校友が所狭しと会場いっぱいにあふれ、熱気のコもった総会になった。

まず、総会ではこれまで亡くなられた先輩方の黙禱に始まり、絹笠支部長の挨拶があり議事に進んだ。事業報告や会計報告、監査報告や新役員の報告など議事は滞りなく済み、来賓の方々の挨拶をお聞きした。



創立130周年の話をされる長堀理事長

まず明治大学の六野政経学部長は、受験者数が115,700人になり志願者数で日本一になった事、文部科学省の「国際化してほしい大学30校（グローバルサーティ30）」に選ばれた事などを話された。そして「中味で勝てる大学に」を目指し、「どこへ行っても勝負できる人」の育成に努力している事など話された。

次に全国校友会の百瀬副会長は、「校友の評価」が大学の評価になるとして、校友会としてIT利用で50万人の校友をまとめ、大学、校友会、父母会の「オール明治」の一翼をしっかり担う事。また現在校友会として、一般学生及び留学生への奨学金の支援をしている事、明大祭など文化祭への賛助、さら



葉台湾支部長から絹笠支部長へおみやげが贈呈された

には明大スポーツ博物館の創設を提案している事などを話された。

飛行機の都合で少し遅れてこられた長堀守弘理事長は、来年度が明治大学創立130周年になるので、20年かけて「早慶を抜く」計画を立てている。その一環としてまず本校の11号館や和泉の図書館、生田のB館など、劣ると思われる設備を改善をする事などを話された。130周年については記念式典やいろいろな記念イベントが計画されており大変楽しんだ。

次に会場を変え懇親会に移った。今回の特徴は何と言っても、参加者が大変多かった事（それも若い人や新人校友が多かった）と、初めて台湾支部から葉 潜昭支部長、頼 志明副支部長、若手の林 至真氏らの出席があったことだ。さらには毎年来ていただいている韓国支部から朴 元錫支部長や嚴 泰又幹事長、そして父母会のOBの方々など来賓の多い総会になった。

父母会の田中会長、韓国の朴 元錫支部長、台湾の葉 潜昭支部長が挨拶をされた後、大牟田支部の古賀支部長の乾杯の音頭で懇親会が始まった。台湾の葉支部長は、高級な紹興酒を記念にお持ちになり、絹笠支部長に渡された。また、この7月、台湾の福岡総領事を退任される周 碩穎氏に明治のイニシャル入りの野球帽とポロシャツが贈呈された。



古賀大牟田支部長の乾杯の音頭

各年代ごとに設けられたテーブルでは、酒を酌み交わしながら学生時代の事や近況報告などの話で会話が弾んでいた。途中アビスパ福岡の田中常務や式守校友の挨拶があった後、新人紹介やお楽しみのポッキーゲームで大いに盛り上がった。

今回は若手の校友の参加も多く、終了後も平成会では台湾からの若手校友を連れて2次会に行ったりして、これからの福岡パワーを感じさせる総会だった。

新年交礼会 平成22年1月21日

福岡市地域支部の新年交礼会が、1月21日（木）にセントラルホテルフクオカで開催された。開会に続いて、萩原副支部長が昨年末亡くなられた古賀愛人前支部長のご逝去の報告をされた。会場のメイン舞台には、古賀前支部長の写真が飾られており、新聞記者時代やTNC創成期時代の話を通して、改めて古賀支部長の偉大さを感じる内容だった。

大学校友会福岡市支部新年交



古賀前支部長の遺影を横に、ご逝去の報告をされる萩原副支部長

今年の新年交礼会には約70名の校友の参加があった。さらに来賓として韓国支部や大分支部、父母会の皆さんがお出でになったが、代表して韓国支部の

嚴幹事長が挨拶をされ、韓国支部の活動状況や留学

生の話がされた。そして、小石原副支部長の「献杯」で懇親会に入った。

新年交礼会という事で、皆さん新年の挨拶や近況報告などで酒を酌み交わし会場は盛り上がったが、平成会が企画して明治グッズを景品に用意した「ムカデゲーム」では、先輩後輩入り混じって一段と賑わった。

最後に皆さんで肩を組み校歌を斉唱し、新しい年の門出を祝った。



ムカデゲームでにぎわう会場

台湾総領事 — 周 碩 穎 校 友 の 功 績



参加者全員の記念撮影

7月15日に退官される周校友の「歡送会」が、6月14日に八仙閣本店にて行われた。発起人は福岡市地

域支部の神永・矢谷校友の両氏である。当初、両氏は十数名の参加を目処にされていたが、生憎の月曜日にも拘わらず福岡全県にわたって約40数名の校友が集まった。周校友の人徳の賜物である。

ほぼ定刻に周校友が夫人を伴って会場入りされると、出席者全員が自ずと席を立ちスタンディングオベーションで迎え入れた。まさに我々の偽らざる同氏への畏敬と友情の証であったろう。

矢谷校友の司会にて、発起人代表の神永校友、校友会代表として絹笠県支部長が挨拶をされた。続いて周校友から「福岡時代の4年余は、自分の人生の中でも最も充実した輝いた時間でありました」と述べられた。そして、大好きなゴルフと温泉を十二分に堪能した事、忘れ得ない思い出を刻み込めた事、とりわけ明大校友会諸氏との各交流がそれらの中心であった事、校友会諸氏に支えられて任期を全うできた事、そして退官後は故郷の花蓮に戻り、日本語や日本文化の教育に当たる事、最後に皆様への感謝は夫婦ともども言葉に言い尽くせないなどと謝辞を返された。

思えば、明大校友会台湾支部との交流は同氏を起

点に始まり、今年度で4回目（11月のフラワーフェスティバル期に予定）を迎える。彼の存在なくしては現在の交流はなかったと言っても過言ではなかろう。台湾支部総会への参加を契機として我々福岡県支部校友は台湾を知り、より知ろうとし日台交流を深めてきた。そして、同氏は校友の計らいの下に幾多かの地方公共団体への表敬訪問を実現されるとともに、沢山の民間との交流をも具現化されてきた。

中華民国にとってのわが国の入り口——福岡を強く認識されるばかりでなく、九州またその近隣への両国間の架け橋となられ、その活躍ぶりは多くの地方紙にも掲載されている。人的・文化的交流のみならず経済交流に多大な貢献をされ、尽力されてきたのは周知に事実である。

我々校友は周校友が構築されてきたこの財産を次



最後は全員のアーチで送りました

ぎの世代に継承していかねばならない。複雑な国際情勢の中での苦勞は、あの人なつっこさの笑顔の中に隠されている

が、この財産は間違いなく周校友の残された功績に他ならないのだ。私達は台湾に素晴らしい校友を得た。

ありがとう、周校友、謝謝 そして再見！

(S51商卒 大牟田支部幹事 西山 孝二)

第23回韓国同窓会

6月5日（土曜日）に明治大学韓国同窓会がソウルで開催されました。今年は、大韓民国支部厳幹事長の奥様である洪 潤玉さんのソプラノリサイタルが4日（金曜日）に開催されるため、招待頂いた我々の旅行出発も4日朝となりました。

今回の福岡県支部訪韓団には、大分から村山 富市元首相も加われ一寸したVIP旅行団となりました。村山先輩は86歳という年齢を感じさせないほど矍鑠とされ、私たちに「一人で鞆を持って旅行するのは久しぶりで、楽しい」と話されたり、一般旅行者の写真撮影依頼に応じたりと、気さくな性格の方であり和気藹々の旅行となりました。

10時半に福岡空港を飛び立った飛行機は12時にソウル仁川空港に到着。入管手続きを済ませ空港ロビーに降り立った我々一同は唖然・驚愕。そこにはチマチョゴリ姿の美女が掲げる「“歓迎” 明治大学校友会の皆様 ようこそ ソウルへ」の大横断幕。その横には、少し早く到着されていた青木校友会名誉会長と、厳幹事長がにこやかに私たちを出迎えておられ、正にサプライズ、驚きの歓迎を受けた次第です。



横断幕での出迎え

空港から梨泰院のホテルに向かい、部屋で着替えを済ましリサイタル会場へ出発。会場はロッテホテル2階のエメラルドホール、入り口には明治大学学長、理事長及び校友会（本校・福岡県支部・韓国支部）の花輪（飾り）を始め、村山元首相、金 泳三韓国14代大統領など政財界からの花輪（飾り）が数多く寄せられ、華やかな雰囲気になっていました。木曜日からソウル入りしていた本田夫妻と会場で合流し4時、ホールに着席。

リサイタルは洪さんの声楽の先生の挨拶で始まり、挨拶された女史は梨花女子大学の元学長さんだとの事、武蔵野音楽大学で学ばれた洪さんは声楽家として将来を嘱望されてい



村山元首相や元韓国大統領金 泳三氏からの花

たそうですが、ご主人厳氏の事業発展に内助の功を尽くし、永らく声楽から離れておられたとの事。この度、元国会議長 朴 寛用 氏からの勧めなどがあり本日のリサイタル開催の運びとなったとお話でした。

プログラムは4部構成で、Ⅰ・Ⅱ部はモーツァルトなどの歌曲。Ⅲ部は韓国語の歌2曲と、「浜辺の歌」「からたちの花」を日本語で。Ⅳ部はオペラの中から2曲を熱唱されました。

洪さんの歌唱は以前にも拝聴した事がありましたが、本格的な練習を重ね、専用ホールで艶やかなドレス姿で熱唱されるステージ上の洪さんは、私達が今まで知り得なかった『ソプラノ歌手 洪 潤玉』の本領を発揮した姿であり、正に刮目の思いで歌声に聞き入りました。

リサイタルの最後には、村山元首相をはじめとした来賓の方々の挨拶に続き絹笠団長からは自筆の絵画贈



呈もあり、ソプラノリサイタルは感動と拍手に包まれ終了しました。

翌5日は大韓民国支部定期総会の開催日。例年通りロッテホテル37階で開催された総会には、大学より納谷学長、長堀理事長、校友会より向殿会長、青木名誉会長、村山名誉会長、絹笠副会長（兼福岡県支部長）が揃って参加されました。朴支部長が「今日は、明治大学がそっくりソウルに移ってきたようで、とても嬉しい」と挨拶されたように、来賓席は嘗てない豪華なVIPが集う席となりました。また台湾支部からは葉支部長を始め在日台湾校友も多数参加され国際色豊かな総会ともなり、韓国同窓会開会の辞に『今日の盛会は、わが同窓会の歴史に刻まれる空前絶後の大慶事』と記される程、嘗てない大総会となりました。

私は在日台湾校友と同席となり、ソウルに居ながら「乾杯（カンペイ）」と「随意（スイイー）」の台湾式応酬を繰り返し、しっかりと飲まされてしまいました。

また、昨日のリサイタル後の食事会で同じテーブルとなったご縁で、陳 昌鉉 氏とも親しく話をさせて頂きました。陳先輩は今年81歳になられるとのことでしたが、輝く瞳とはにかむような話しぶりなど、まるで少年がそのまま大人に、そして80歳になったような方でした。「東洋のストラディバリ」と畏敬の称号を得た方であるのに、偉ぶることもなく暖かみのあるその人柄に親しく接することができたことが個人的には今回の旅の大きな収穫でした。

（次ページに続く）

総会の最後に葉支部長から、台湾支部総会の案内がありました。台湾花博が開催される11月に台湾に来て欲しいとの要望であり、その場で各国話し合い13日を目途で調整することとし、台北での再会を約し総会は和やかな雰囲気にもまれて終了しました。

翌日、朝食後暫くホテルでくつろぎバスで仁川空港に出発。空港では福岡に帰る私達と、大分に帰られる村山先輩は別便となるため、出国手続き後、各々の出発口ピーヘ向かいお別れとなりました。福岡を出発以来、村山元総理と常に行動を共にしてSP役を勤められた絹笠団長、「大役でお疲れになった事と思います」旅行団員一同頓首。

行きの飛行機は、洪さんのリサイタルに酔って行けないと「禁酒令」が出されていましたが、帰りの飛行機ではビールを片手に、今回の歴史的韓国同窓会を振り返りながら楽しい会話を繰り広げるうちに恙なく福

岡空港に帰りました。

11月には台湾支部総会が開かれます。葉支部長が張り切っておられますので、多くの校友の参加、特に若い方の参加を期待しています。

(S52年商卒 佐藤 洋)



参加者全員での記念写真

第51回 駿台ゴルフ会

快晴の中 6月10日 第51回 駿台ゴルフが開催されました。(小郡カントリー倶楽部 幹事支部 福岡市)

暑く感じる蝉の声も風も無くウグイスなど山鳥の歌声が聞こえ、とても爽やかな環境でのプレーでした。

さすが昨年の東京六大学対抗ゴルフ大会で優勝した明治大、27人中19人がスコア100切りとハイレベルな大会でした。(参加者の中にはプロ並みのショットを打つ方々も見受けられました。)

優勝	中野 正 (S36 政経)
	GR 81 HDCP 9.6 NET 71.4
準優勝	小林 隆利 (S53 工)
	GR 83 HDCP 10.8 NET 72.2
3位	伊藤 泉 (S51 政経)
	GR 82 HDCP 9.6 NET 72.4



私と同組の伊藤 泉先輩と鈴木 弘幸先輩は古くからのゴルフ師弟関係にあるそうで、お互いのプレーを確認し合いながら嬉しそうにプレーされていたのが印象的でした。

ちなみに初参加でGR117参加者中最多スコアの私は修行して来年も必ず参加したいと思っております。

(H9年商卒 女賀信治)



代表取締役
松山 孝義
(昭和60年 法学部卒)



〒810-0011 福岡市中央区高砂2-24-23
TEL 092-533-0001 FAX 092-533-0002
e-mail: tm1999@pop06.odn.ne.jp

明宅会

イースタン産業(株)

代表取締役 **野口 順四郎**
(昭和41年・法学部卒)

福岡市東区多の津4丁目8-1
TEL (092)611-4423

活魚・炭火焼き

田すめ

明大サービスいたします

〒815-0033
福岡市南区大橋1丁目15-16
TEL 092(551)0163
☎ 0120-070163

九州明柔会

●●● Topic

九州明柔会が4月3日、市内の「割烹 稚加栄」で行われた。九州明柔会は、明治大学柔道部OBの九州地区の集まりで、全日本選抜柔道体重別選手権大会が福岡国際センターで毎年行われるのを機に、参加する選手の応援激励を兼ねて、毎年開かれている。柔道部OBは前福岡市地域支部長の古賀愛人氏をはじめ、福岡市地域支部にも数多くおられる関係で、地域支部の一般校友も多数参加している。



神永会長(左)から紹介を受ける藤原監督(右)

まず九州明柔会会長の神永正夫先輩が挨拶をされ、続いて岩崎 勇名誉会長の乾杯で会は始まった。今年の全日本選抜柔道体重別選手権大会は、今年9月に東京で行われる世界選手権の代表選考を兼ねる大会になっていて、その重要な大会とい

う事で上村春樹全柔連会長兼講道館館長は毎年の事ながら、今年は格闘家の吉田秀彦氏(この春にプロ格闘家の引退声明を発表)の顔も見ら



挨拶する吉田秀彦氏

れ、この大会に対する意気込みが感じられた。その後、藤原敬生監督から活動状況が話された。余談ながら、この大会では+66キロ級で海老沼匡選手(商学部3年生)が優勝し、日本代表に選考されている。

今年は福岡市地域支部校友も多く、明柔会の方々からも「今年は福岡の校友が明柔会より多かばい。」といった挨拶も聞かれ、和やかな会になった。

最後に応援団OBの小石原先輩の音頭で校歌斉唱となり、明日からの大会の成功を祈ってお開きとなった。

明志会

●●● Topic

今年初めての明志会が5月10日に開かれました。今回のスピーカーは、我らが校友、S63政経卒の田中耕先輩(今春、二十数年勤められた西日本新聞から大抜擢でアビスパ福岡の常務取締役にご就任)です。そして平成8年経営学部卒の塚本秀樹GKコーチ(元アビスパ名ゴールキーパー)とご一緒にアビスパの現状を語っていただきました。

田中先輩は、根っからのスポーツマンで、小学校中学校時代に当時弱かったが福岡に唯一あったプロ野球の太平洋クラブライオンズの応援に、東区から自転車で度々応援に行っていた事など話され、その後しばらく福岡にプロスポーツチームがなかった淋しさなどを話されました。そういう経験から、アビスパの経営難からの再建について熱く語る田中先輩の話に私達は思

わず聞き入りました。そして、ジュニア&ユースへの熱き指導を語る塚本コーチの話にも、参加者は皆聞き入りました。

そして宴もたけなわながら、すかさず田中先輩より入る参加メンバーの資産チェック!しかしながら、到底スポンサーになれる校友は居合わせず(汗)。まずはサポーターとして“校友1000人を集めてのサッカー観戦”を目標に皆心をひとつにした夜でした!「フレ~フレ~アビスパ!!!」



皆様、観戦企画の際は、是非、奮ってご参加下さいね。

(H4経営卒 中村徳子)

機能だけではなく、
快適という基準
今からのまちに必要だと思う。
誰もが感じる気持ちよさ
これからもいろんなところで
カタチにしていきたい。



いつも人が
発想の原点。

株式会社 **松本組**

代表取締役社長 松本優三 (56年商学部卒)

[本社] 〒812-0054 福岡市東区馬出1丁目1番19号 TEL.092-651-1031 (代)

思い出に残る、板付遺跡の発掘調査

力武卓治

昭和47年、文学部卒業
 (史学地理学科考古学専攻)
 佐賀県出身
 福岡市教育委員会文化財部
 埋蔵文化財センター
 文化財教育普及専門員



学内にある考古学博物館の存在に明らかなように、明治大学考古学研究室は日本の考古学界でさまざまな足跡を残してきた。今年3月まで福岡市埋蔵文化財センターの所長を務め、4月から文化財教育普及専門員として活躍する力武卓治校友は、学生時代に日本代表する考古学者のひとり・杉原荘介教授に師事し、日本最古の稲作集落・板付遺跡の発掘調査に関わった経歴をもつ。そんな力武校友に今回、板付遺跡の学術的意義と明大考古学研究室の活躍ぶりについて寄稿していただいた。

昭和25年に後藤守一教授によって創設された明治大学考古学研究室は、杉原荘介、大塚初重教授をはじめ、日本を代表する考古学者が揃い、有名な遺跡の発掘調査で名を馳せてきました。その輝かしい成果は全国の考古少年たちの憧れであり、私も考古学を学ぶならぜひ明大で、杉原教授の教えを受けたいと、昭和43年に入学しました。

戦後、神話教育から解放され、真実の歴史を明らかにしようという気運が高まりました。そうした中、杉原教授が団長となって静岡県の登呂遺跡を発掘。弥生時代のムラの様子を明らかにしました。しかし、登呂遺跡は弥生時代の終わりの頃の遺跡だったことから、弥生時代とはいつ、どこで始まったのかとい

うことが考古学界の次の研究課題として持ち上がったのです。ちょうど、その頃、福岡市板付の畑で縄文と弥生の土器が一緒に出土。その画期的な出来事に、弥生時代は板付から始まったのでは、との期待が高まりました。

そこで、杉原教授は昭和26年から4年間、九州の研究者とともにこの板付遺跡を発掘調査。その結果、溝や貯蔵穴、粉痕のある土器、朝鮮半島と同じような収穫用の石包丁など、この遺跡が日本最古の稲作集落であることを証明する遺構や遺物を見つけ、稲作伝来の様子を明らかにしたのです。

しかし、杉原教授の学問的執念はこれで終わらせませんでした。今度はムラの全体像を明らかにするべく、昭和43年から明大考研として再発掘に挑むことになったのです。その年に入学したばかりの私は夏休みの実習で板付遺跡の発掘調査に参加を希望し、その一員として発掘作業に携わるという幸運に恵まれました。



昭和27～8年頃の板付遺跡の発掘調査の様子

数年にわたる再発掘調査の結果、この遺跡が断面V字形の深い溝で取り囲まれた環溝集落であることが判明しました。そして、日本最古の稲作集落の全体像が明らかになったということで、大きな話題を呼びました。その後、発掘調査は福岡市教育委員会に引き継がれるのですが、その福岡市教育委員会に私は大学を卒業してから就職。そこで、板付遺跡の史跡整備を担当するなど、さまざまな関わりをもつことになりました。「板付弥生のムラ」の愛称で親しまれる史跡では、見学者がムラ人になって弥生人と同じ農作業や年中行事に参加できるという全国でもユニークなイベントを開催しています。校友のみならず、ご参加いただき、明大考研の功績に思いを馳せていただければと思います。



戦後の発掘道具



今回は、NHKの大相撲放送でいつも活躍している三瓶アナウンサーに登場願いました。自己紹介の形で皆様にご紹介いたします

三瓶 宏志（さんべ こうし 1969年5月6日）さん。福島県南会津郡只見町出身。平成4年 明治大学政治経済学部卒。1992年入局。NHK盛岡放送局 盛岡→NHK仙台放送局 仙台→NHK名古屋放送局 名古屋→NHK放送センター 東京→NHK福岡放送局放送センター 福岡の順にご勤務。ご担当 スポーツ中継（主に大相撲）
趣味、特技 自転車に乗ること、書店で本を探すこと、

大工仕事
（ひとこと）

入局した頃から、転勤希望地を聞かれると「福岡」と答えていました。その憧れの地、福岡で勤務する夢が叶いました。スポーツが盛んな地で、スポーツの面白さを再発見したいと思っています。よろしくお願いたします。

（母校への応援メッセージ）

学生時代はラグビーの明早戦の応援に命をかけていました。今、大相撲の仕事に携わっていますが、相撲界の明治OB達と、本場所がある度に集まって「明治話」で盛り上がります。明治の人間はどこにいても熱いのです。

明治大学 イベント紹介 「水俣・明治大学展」

明治大学は9月4日（土）から19日（日）まで、駿河台校舎アカデミーコモンで、水俣病問題に関する企画展「水俣・明治大学展－環境、人間、社会を考える－」を認定NPO法人水俣フォーラムとの共催で開催する。

水俣病第2次訴訟で福岡高裁、第3次訴訟で国や熊本県などを相手に福岡地裁、福岡高裁でも争われ、1995年の政治解決で一応のピリオドが打たれた水俣病問題だが、その後、最高裁に上告された関西水俣病訴訟が2004年10月、国や熊本県の敗訴で結審。その司法判断により、水俣病問題は新たな展開を見せ、第2の政治解決に向け動き出した。また、7月18日に大阪地裁で水俣病患者認定をめぐる国の基準を否定する判決が下されたばかり。

折りしも、人間の健康に大きな影響を及ぼす水銀の排出削減を国際的に進めようと、13年後に国際条約の採択と署名を行う国際会議が開催されることになっており、国連環境計画（UNEP）などが現在、その具体策の策定作業に取り組んでいる。そんな中での同展の開催は、時宜を得たものだといえる。

また、同展は水銀中毒問題が深刻化している開発途上国に向けたメッセージという側面も併せ持つ。



環境問題が世界的にクローズアップされる中、同展は来場者に対しさまざまな問題を提起することも期待される。富国強兵時代の足尾鋇毒事件で学生有志が積極的な関わりを持ち、世に明治法律学校の名を知らしめたという経緯をもつ明治大学で、同展が開催される意義は決して小さくない。

〔展示〕（於:アカデミーコモン）

メイン展示、患者遺影、実物展示、美術展示

水俣病ブックフェア、水俣物産展、語り部コーナー
写真展示、毛髪水銀調査コーナー

（9/4～9/19、10:00～20:30）

〔総合講座〕（於:リバティタワー1011室）

地域住民にとっての水俣病（9/10、19:00～21:00）

水俣病政策の変遷と現在（9/15、19:00～21:00）

水俣病をめぐる法と裁判（9/17、19:00～21:00）

水俣病という思想（9/19、12:00～14:00）

〔ホールプログラム〕（於:リバティタワー1011室）

記念講演会「原田正純『水俣病の現在と世界の水銀汚染』」（9/11、17:00～19:00）

「私と水俣病」－患者さんのお話から

（9/4、13:00～15:00・9/8、19:00～21:00・9/12、12:00～14:00）

学生との対話「水俣から何を学ぶか」

（9/18、13:00～15:00）

映画「水俣－患者さんとその世界」完全版を見る

（9/5、13:00～15:50）

映画「不知火海」を見る（9/18、17:00～19:40）

■問い合わせ：水俣・明治大学展実行委員会

（TEL 03-5285-1106）

●大会プログラム

●記念式典・記念イベント

日時 平成22年9月5日(日)13時開会

会場 山形県民会館大ホール
山形市七日町3-1-23
TEL 023-622-7133

■受付開始/12時～

■記念式典/13時～

■記念講演会/14時30分～

■懇親会/18時～20時
パレスグランデール
山形市荒橋町1-17-40
TEL 023-633-3313

■参加費/校友:10,000円 同伴者: 8,000円



記念講演会

歴史家・作家
加来耕三氏
[今こそ、明治大学創立者
宮城浩蔵先生に学ぶ]

平成22年 (2010年) ○前夜祭 山形グランドホテル.....9月4日(土)18時
○記念式典 山形県民会館大ホール.....9月5日(日)13時
○懇親会 パレスグランデール.....9月5日(日)18時
○エクスカージョン(観光).....9月6日(月)～7日(火)

総会・懇親会のご案内

平成22年度福岡市地域支部の総会・懇親会を下記の通り開催いたします。

小川支部長となりまして初めての総会ですので多くの校友のご参加をいただき、平成会の皆さんのお手伝いで、ゲーム等で楽しい懇親会にしたいと存じます。

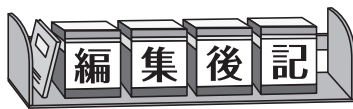
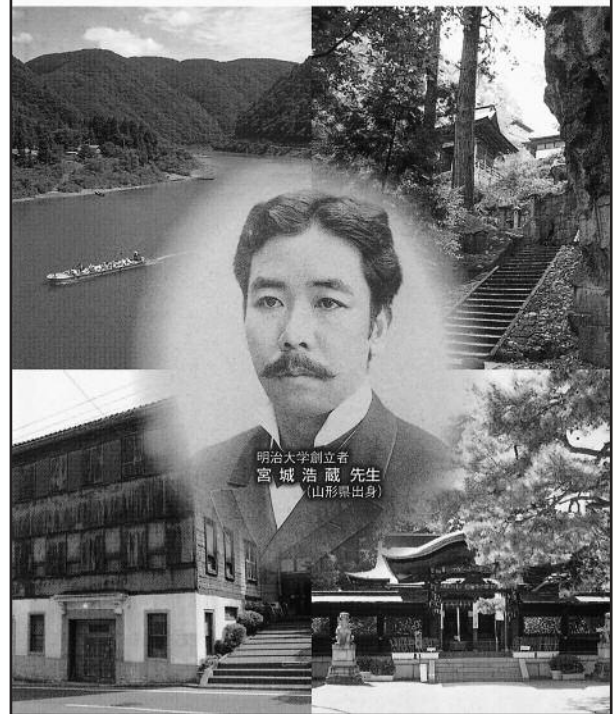
校友諸氏が親睦と交流を深める、よい機会と存じますので、是非ご出席下さいますようご案内申し上げます。

●日時 平成22年9月17日(金)
18時30分～20時30分(予定)

●会場 セントラルホテルフクオカ 3Fダイヤモンドホール
福岡市中央区渡辺通4-1-2
TEL 092-712-1212

●会費 5,000円
(但し、女性校友及び平成15年卒以降の校友は4,000円)

●問い合わせ先
福岡市地域支部幹事長 矢谷 学(昭50法卒)
TEL092-631-3336(三栄印刷)



校友の皆様 暑中お見舞い申し上げます。

この半年、政界では鳩山首相から菅首相に

変わり参議院選挙などもありましたが、スポーツ界ではサッカーのワールドカップで日本中が沸くなど、あわただしい半年でした。さて、校友会でも行く人、来る人がおられます。台湾の周 総領事が離任されました。まさに台湾校友会との交流は、周さんが福岡に来られてから始まったようなものです。外国との交流を考える時、そこに知った人がいるというだけで、気持ちはずいぶん違いますね。草の根のこういったお付き合いも、国同士の交流には大切ではないでしょうか。そして、新しい小川支部長の誕生です。小川支部長は営業畑が長く、お酒も強

いそうでバイタリティー溢れる方です。校友会の次の飛躍のために私達も全力で協力していきたいものです。いつもながら広告にご協力いただきました校友の方々に御礼を申し上げます。

編集委員一同

編集委員長 本田 博志 (昭52法)
委 員 佐野 貞和 (昭59工)
" 今井 葉子 (平4営)
" 中村 徳子 (平4営)
" 石迫 弘久 (平8文)
" 女賀 信治 (平9商)
校友会事務局 矢谷 学 (昭50法)
" 高野 礼子 (平元法)